

令和7年度 第1回理事会

日時：令和7年6月24日（火）：19：15～

場所：甲州コミュニティホール

慶事： 0件 弔事： 1件

施設数：183施設

会員数：926人【施設会員882人（入会手続き中11人含む）/在宅会員44人】

休会員数：222人（6月23日現在）24.0%

【審議事項】

1. 研修会開催におけるクレジットカード決済の管理権限の発行に関して：学術局

【報告事項】

1. 認知症スタンブラリー報告について：認知症対策委員会

【事務管理局より】

- ・ 定期総会について、最終集計、現地参加47名、委任状544名、合計591名で、過半数となりました。
- ・ 今年度は、物価高騰の影響等により、収入予定を大きく上回る予算となり、調整に多くの時間がかかりました。来年度の予算編成もかなりの時間を費やすことが予測されます。来年度は改選期となるため、年明け1月から予算の検討を行っていきたいと思います。また、事業報告も4月上旬にはまとめられるように進めていきたいと考えております。ご協力をお願いいたします。
- ・ 局の事業費を渡しています。全額は振り込まれていないので少なめになっているため、足りない場合には財務の方へ連絡をお願いします。
- ・ 出納帳をできればエクセルでお願いした。弥生会計で早く計算できるのでご協力宜しくお願いします。
- ・ トークで送っているファイルが3年なので、必要なファイルはドライブへ保存をお願いします。

【関東甲信越ブロック理学療法士学会：小林副会長】

- ・ 県内の演題登録が4演題となっている。
- ・ 演題登録が7/15までに延長しますので、県内で30演題いきたいのでご協力宜しくお願いします。
- ・ 寄付の依頼を施設長宛に届くと思いますので宜しくお願いします。

【LINE WORKSのフォルダについて】

- ・ 使用しているフォルダをそれぞれで整理する。
- ・ 見る習慣と活用する習慣をつけて活用できるようにお願いします。

【Zoomのワンタイムパスワード】

- ・ LINEWORKSのカレンダー設備予約から予約して、ZOOMの予約はZOOMで予約していただく。ワンタイムパスワードが必要な場合には事務局に連絡いただいて、パスコードは10分しか有効でないので合わせてタイミングで入らないといけないので事前に連絡をいただきたい。

【磯野会長】

- ・ 総会を開催して無事に終了しています。終了して事業計画・予算案が承認されて、令和7年度が動き出すことになります。理事会に集まっていただき皆さんが士会の運営の中心になっていることは大きい、また部の中に

たくさんの部員がいて、支えられて士会の運営ができていると感じている。

- ・予算を組んでいく中で非常に予算が足りないということで苦労しました。長く士会にいて予算が組めないのは初めてで、会員から予算についての意見もあった。
- ・会員数が減り、休会者増えている。士会の運営にメリットが打ち出せていない少なくなっていると思っている。士会の性格は自分たちが切磋琢磨して県民に重要性を伝えることで、この個人のメリットを追求する会ではない。しかし、求められる会員がいる以上やっていかないと存続が難しい。
- ・財政的な面で、会員数は来年度も非常に大きな課題になっています。いろんな意見を吸い上げて、繋がるか分からないが、その部分を変えていくような会にしていきたい。
- ・会費の負担が大変だといった声もあるが、下げたら入ってくるのか、いくら下げれば入ってくれるのか。下げた分は増収にならず事業の制限になってしまう。士会の継続性を考えた時に皆さんに会議費を支払ったり、理事で頑張ってもらって理事報酬をつける議論もなかったわけではない。非常に大きな課題を抱えているということでご認識いただければと思います。控えめに会を運営するのではなく、知恵を絞って運営して頂ければと思います。一年間宜しくお願いします。

【幹事より：斎藤幹事】

- ・総会の承認を得て今年の事業がスタートした。予算編成は厳しい状況ですが、皆さんの力を結集してチーム磯野で今年の事業を進めていただきたい。若い会員の方々に士会の運営を知っていただくのも必要で、一方で厳しい視点で見られていることも感じているので、何か成果が示せたらありがたいのでぜひご協力を宜しくお願いします。

【研修会開催時の感染対策の緩和について】

- ・感染対策委員会で、研修会での感染対策に関する素案を作成して理事会で協議してく。

資料 1

【 審 議 】

提出者	渡邊 修司		部局名	学術局
議 題	研修会開催におけるクレジットカード決済の管理権限の発行に関して			
内 容 および 提出趣旨	学術・研修部では、年間 4 回の研修会開催を計画している。今後、クレジットカード決済を導入するにあたり、参加者情報の管理や、オンライン研修における Zoom ID 等の重要情報の連絡を、より迅速かつ正確に行う必要がある。そのため、参加者管理の円滑な運用を目的として、参加者情報に関する管理権限を学術局の局長および学術・研修部長に付与していただきたい。			
	提出資料	無	別紙 枚	資料番号等
提出者の意見	現在、他県士会においては、学術関連の局長および部長が研修会運営における参加者管理に関して一定の管理権限を有しているケースが多く見受けられる。 本会においても、特にオンライン研修の開催時には、参加者への Zoom ID 等の情報連絡をスムーズに行う必要があり、参加申込から連絡に至る一連の流れを効率的に管理できる体制が求められている。 現状、対面開催の際には当日現金による聴取を行っているが、オンライン開催場合、無料で行ってきた。今後はオンラインにおいても参加費の徴収を進めるにあたり、銀行振込による参加費の支払い方法では、①入金確認に時間がかかる、②振込名義の誤記等、ヒューマンエラーのリスクが高い、③入金と申込者情報の照合に事務負担がかかる、④参加者の振込手数料がかかる、といった問題点がある。以上を踏まえ、クレジットカード決済の導入は、迅速かつ確実な参加者管理を可能とし、研修会の企画・運営から参加者対応までを一元的に行うことが可能となり、オンライン研修を含む研修会の運営をより円滑にするものと考えられる。 以上の理由から、本会における研修会運営の効率化と参加者サービス向上を目的として、学術局長および学術研修部長への管理権限の発行を承認していただきたい。			
	提出資料	無	別紙 枚	資料番号等
主な意見内容 など	・決済管理の担当部署と権限の振り分けについてどこが担当すべきか、また既存の権限（15 件中 7 件ほど付与）の中でどのように配分すべきか検討が必要。 ・会員管理の権限、会費徴収などの状況を見る権限、参加費徴収やポイント申請の研修会を登録するための権限がある。現状、会費に関する権限は財務部に、ポイント付与や研修会に関する権限は学術局に付与されている。 ・収入を伴う研修については、局や委員会に権限を付与する案も提示されました。 ・学術局では、名前、協会番号、アドレス、所属を閲覧できる。決済については事務局へ問い合わせをするため時間がかかる。そのため、閲覧権限が付与されれば、開催頻度は多い学術局にとって利便性向上につながる。 ・入金状況が月に一括ではなく分散しているため、分かりにくい。 ・クレジットカード決済におけるエラー対応は協会から催促している。参加者総数が分かれば、参加費と手数料を含めた合計金額が分かる。 ・非会員や学生からの参加費徴収については、個別の口座支払いや現金支払いで案内して対応している。 ・委員会には通帳がないため、振込先を確認する際は財務部への問い合わせが必要な現状があります。			

	・電子決済について、今後の検討が必要となる。		
審議結果	審議（終了・継続・保留・付託）	賛否（賛成 反対）	
	・権限の付与については承認 ・学術局と事務局と権限を確認して進めていく。 ・開始は8月の研修会から行い、まとめていきながらマニュアルなどにしていく。 ・電子決済が可能か検討。		
	対応部局または理事氏名	学術局、事務管理局	
	処理期間	令和 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会員）	C（一般）

資料2

【報告】

提出者	清水 真治	部局名	認知症対策委員会
議 題	認知症スタンプラリー報告		
内 容 および 提出趣旨	2025年6月1日（日）7：30～16：00 金川の森にて「認知症スタンプラリー」のイベントに部員5名と参加しました。主催：山梨県作業療法士会、共催：山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 認知症対策推進委員会としても参加しました。13団体が参加し理学療法士会では、展示ブースやロコモチェック、グッズ配布（100個）を行いました。		
	提出資料	あり	別紙 1枚 資料番号等
提出者の意見	・広報部からグッズ（トートバック、理学療法ハンドブックなど）やビブス、のぼり旗を貸していただきました。 ・イベントは、10：00～15：00でしたが、準備や片付けても含めると8時間30分ほどの事業で、イベント参加人数が多く5名で対応では、休憩時間（昼食）がほとんどなく余裕をもって事業を行うことが困難であった。 ・ボランティアスタッフを募集したが、募集を始めるのが遅かったことや第60回日本理学療法学会学術研修大会とも日程が重なったためボランティアスタッフはいませんでした。 ・ロコモチェック 106名（別紙参照） グッズ等配布 100個		
	 		



提出資料	無	別紙 枚	資料番号等
------	---	------	-------

主な意見内容
など

- ・ ボランティアまたは部員数を増やし余裕を持った対応ができるようにしたい。
- ・ リハ専門職団体協議会から、多くの団体がそれぞれの角度から認知症について取り組んでいることが良かった。また、公園だった遊びに来て立ち寄れる手軽さがあるのが良かった。

結果

報告の通り

公開度

A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)

B (会 員)

C (一 般)